

PURE CHABLIS

One grape
One region
One of a kind

プレスリリース - 2024年2月1日

2023 思いがけないヴィンテージ

一筋縄ではいかない天候が収穫の前日まで続いたものの、2023 ヴィンテージは、品質・数量ともに良好な状態を示している。

周知のとおり 2023 年は暑く乾燥していたが、シャブリ/Chablis のブドウ畑もこうした気象条件を免れることはなかった。にもかかわらず、収穫直後にタンクは満杯になった。久方ぶりに、2年連続で収穫量に影響を及ぼすような大きな気象問題がなかったことになる。

シーズンは非常に暖かい冬から始まったが、ぶどう樹はゆっくりと成長を遂げ、発芽日は過去 20 年平均と並んだ。

3 月末と 4 月初めには、春の霜が幾分か見られた。特に 4 月 4 日と 5 日は霜対策が実施された。しかし、気温はそれほど下がらず、また、多くの芽はまだ綿毛に守られている状態だったため、寒さの影響をあまり受けることはなく、幸いにも被害は限定的であった。

発芽が始まると、区画によりばらつきが観察され、このばらつきは収穫まで続いた。

4 月には変わりやすく湿った天候が続き、ぶどう畑での作業を複雑にした。4 月末から 5 月初めになってようやく、好条件の天候に落ちついた。

その後、ぶどう樹の生育は早く進む。最初の開花が 6 月 1 日頃に見られ、6 月 10 日頃に開花の最盛期を迎えた。この段階は一般的に迅速かつスムーズに進んだ。構造のしっかりした良い花房が見られ、既に収穫量の潜在的な可能性を予感させた。これは良い兆候であった。



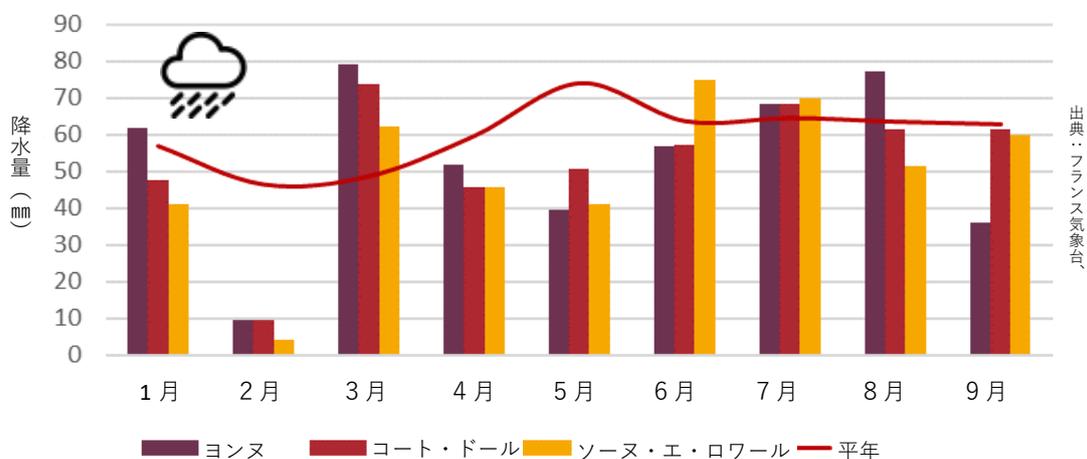
開花

5月から6月にかけて、場所によりばらつきはあったものの何度も雨に見舞われ、ウドンコ病とベド病が発生しやすい条件がととのってしまう。これらの病気は、広がるのに好都合の条件を待っていた。このような衛生上の問題が続いたことにより、生産者は絶えず注意を払う必要があった。

7月初め、例年より4~5日早く果粒の肥大が終了した。

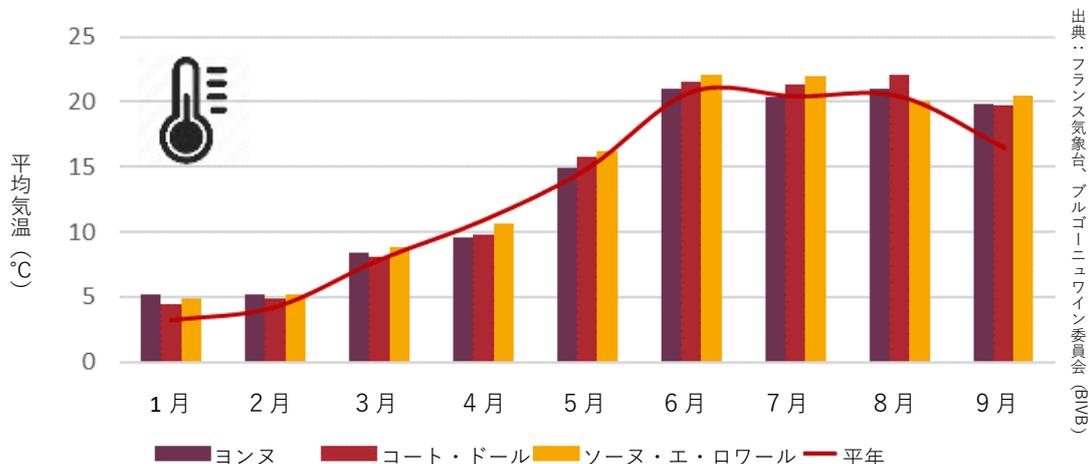
その後、干ばつが現実のものとなる。春の水不足がシーズンを通して補完されることはなく、7月になるとスラン川流域に乾燥特別警報が発せられた。9月、乾燥問題はさらに深刻化し、スラン川の水位は魚がやっと呼吸できるほどのレベルだった。8月末の雨と風は、雹がいくらか影響を与えたものの、この状況を変えるほどのものではなかった。

2023年1月~9月 県別 月間降水量の推移 (mm)



この状況下で、果房は成熟に足る水分を得られたのか。降水量が少し多かった地域のぶどう樹は生育を続けられたが、降水量が不十分な地域のぶどう樹はストレスを受け、代謝が落ちてしまった。

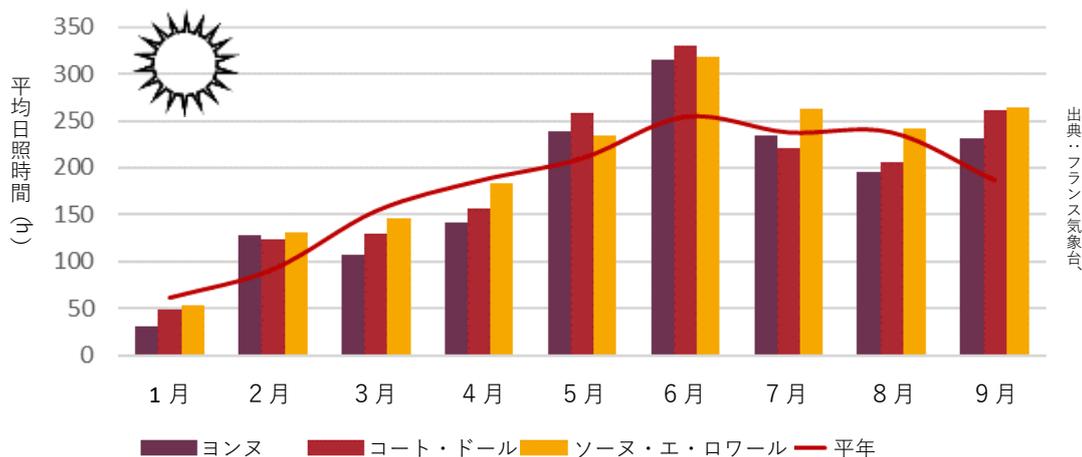
2023年1月~9月 県別 月間平均気温の推移 (°C)



9月7日、暑さの中でぽつりぽつりと収穫が始まり、9月11日には殆どのドメーヌが収穫に踏み切った。午後は暑く、夜は涼しかったため、収穫は夜明けから行われた。収穫は必ずしも、いつも通りにはいかなかった。

乾ばつにもかかわらず、収穫量がそこそこあったことは驚きに値する。収穫期にまで暑さが続いたことにより、果房は最適な熟度に達し、素晴らしいシャルドネ/ Chardonnay が運び込まれた。

2023年1月～9月 県別 月間平均日照時間の推移



発酵は素早く始まり、スムーズに進んだ。出来上がったワインは表情豊かで、今日、きれいな果実味のニュアンスを見せている。シーズンを通して、変わりやすく、ストレスの多い天候に見舞われたにもかかわらず、すべては良い方向に向かっている。2023 ヴィンテージが愛好家の心と舌を満たす日はそう遠くないだろう。

www.chablis.jp

Françoise Roure
Bureau Interprofessionnel des Vins de
Bourgogne (BIVB)
Tél. : + 33 (0)3 86 42 42 22
E: francoise.roure@bivb.com

X & Instagram : @VinsdeChablis -

#PureChablis

